

- 第15回研修会開催報告 1・2
- 会員投稿 共通部首パズル 3
- 漢感興起～巷に生きる漢字あれこれ～ 4
- 初めて一級に合格しました! 6
- 漢字同好会からのお知らせ 7
- お知らせ 投稿募集 8

第15回

会員向け研修会 開催報告

12月20日(日)に神戸市の三宮コンベンションセンターにおいて、第15回「会員のための研修会」を開催しました。京都大学大学院人間・環境学研究科教授の佐野宏先生による講演に、約60名の方が参加されました。

講演の部

要旨

萬葉集の「漢字」

京都大学大学院人間・環境学研究科

教授 佐野 宏 先生



萬葉集の和歌表記に用いられた漢字の総数は約12万文字です。しかし異体字をまとめてしまうと1800字程度になり、使用例が10例を超すものは860字程度と、案外少ない字で書かれています。

ところが表現は多様です。和歌中の「出でば」という表現を「山上復有山」と書いてているのは「出」という字が山が二つ重なっているからという理由で解字したもので、謎かけを含む詩に由来しているものです。同じく中国の古典に由來したもので、「言」を「われ」「あれ」に当てている例もあります。

「飽きない」という意味の「ともしく」を「友敷」と書くような、漢字の訓を借りた表音表記を「借訓表記」とい、その文字を「借訓仮名」または単に「訓仮名」といいます。一方、「之」を「し」、「久」を「く」のように音を借りて読むものを「借音表記」とい、その文字を「借音仮名」「音仮名」といいます。また「雲」「妹」をそれぞれ「くも」「いも」と、日本語のことばに対応して表した表記を「訓字表記」または「訓字」といいます。

訓読するということは、文字の操作としてみれば「假名」の文字列に置換することでもあります。訓字で「贊」と書いても、仮名で「田須久」と書いても、木簡の例ですと同じく「たすく」と読みます。つまり、表記を表意的に書くか表音的に書くかという違いでしかなく、この間を行き来する行為が訓読です。

萬葉集で「千名」という初句がある歌について「カニカクニ」と読まっていますが、原文は「千名」と書かれており、「チナニハモ」「トニカクニ」「チヂノナニ」など、読み方について議論がありました。

ただこの歌の類型表現を見てみると、「カニカクニ」を「云々」と書いているものがあります。「カニカクニ」とは「とにかく」「あれやこれや言う」という意味で、「多言」が「云々」の表記と通底しています。

江淹の「別賦」には「千名」を「たくさんある」という意味で使っています。「千」という語構成は数の多いことを言うのですが、特に重要なのは、「云々」と通底するところがあるということです。「言多(こちたし)」の「多くを言う」はそのまま「千名」に置き換えることができ、そうすると「云々」と通じ、結果的に「カニカクニ」と読むことができるということになります。

一般的な表記法である正訓表記に対して、その字面と関連する字義を特定の語句において使用するものを義訓といいます。「カニカクニ」は、「云々」から「千名」へと派生していったものでないかと思われます。

義訓というのは、一見するとパソコンの変換ミスのように、ある読み方に付いて違う漢字を当てたようにみえます。もちろん、典拠や衍学的な意図があるのですが、なぜそういうことができたのでしょうか。それは恐らくその言葉を皆が知っていて、表現類型上確実に読めるからです。可読性が高いからこそ、違う字を当てるという「遊び」ができるのです。「山上復有山」を「出」と読むのも、この前に出てくる「色」の後に続くのは和歌の表現上「出づ」です。可読性が担保されているから、このように表記できるわけです。書体の崩しのプロセスもこれに似ており、皆が読めるからこそ崩れても読めるのです。つまり、定型性や類型性といった可読性が高いもののほど、また規範性があるものほど、崩れていきやすい多様化しやすい。これは日本語表記の特徴といえます。規範があるから多様化するというのは一見、矛盾するようですが、規範は皆を拘束するように見えて、共有されることで、かえって自由を与えるエネルギーになります。よく知られている歌ほど、表記に工夫が施されるわけです。

萬葉集の和歌はすべて漢字で記されています。假名は、漢字の読み方をただ一つに限定したもので、多様な訓読と假名の世界、そこに使われる漢語としての字義も重なり、意味を付け加えていったというのが、古代日本語の漢字のあり方なのだろうと思います。

かにかくに → 云々 → 千名

正訓 義訓

第15回会員向け研修会 開催報告

■会員発表の部 ■要旨

暦の漢字——「仏滅」は縁起がよくないのか?——

矢作 詩子さん



学習院の生涯学習センターで「大人のための漢字学習」講座を11年間担当し、毎年末には必ず暦の話をしていました。本日は、その一部を抜粋し、歴の歴史および仕組みを紹介いたします。

日本人はカレンダーが大好きな国民と言われています。カレンダーの語源は「月が出土た!」と叫ぶ(=誕生)であり、最初の暦は月の満ち欠けを見て作られました。「こよみ」とは「日読み」からきた言葉です。「暦」とは、国立天文台では太陽、月、惑星など、天体が日々移動していく状況を示した「運行表」を指します。その暦において重要な用語が月の満ち欠け(位相)の変化を表す「朔、弦、望」です。「朔」とは、「遡る」という意味で、はじめて肉眼で捉えることのできる月、すなわち三日月が出た日から2日遡った新月のことを指します。「弦」は、上弦の月、下弦の月というように弦を張った弓の形に月をなぞらえています。「望」は、遠くを望むという意味から満月のことです。そうしてまた月は欠けていき、30日後は「月ごもり」(つごもり、晦日)となります。

さて暦の歴史について触れますと、中国から伝来した暦は、月の動きを基にして日付を表す太陰暦に、太陽の動きを基として季節を表す太陽暦を併用した「太陰太陽暦」でした。江戸時代に、日本の風土にあった独自の暦が渋川春海によつて作られました。明治5年には欧米諸国と日付を揃えるため、太陽暦が採用されました。それが大混乱に陥りました。

現在、毎年の暦は誰がどのように作るかというと、国立天文台の暦計算室が暦要項を作り、前年の官報で発表しています。春分の日や秋分の日など、「国民の祝日」は計算をして決められます。「二十四節気」や日本独自の「雑節」も記載されています。日本人は季節感あふれる文化を育んできましたが、暦は大切な役割を果たしています。

暦には、中国の時刻占いである「六壬時課」から影響を受け、大安や仏滅といった「六曜」も記載されています。この六曜の順序は必ず決まっており、旧暦では各月に配当されていました。例えば正月と7月は1日が必ず先勝で始まるようになっています。よって、旧暦の「中秋の名月」となる8月15日は、8月が友引で始まるため、15日目は必ず仏滅になるのです。このような単純な循環形式であるため、仏滅は縁起が悪いとはいえないのに、私たちは仏滅と聞くと不吉に感じてしまっています。ここに、迷信を迷信と片付けられない日本人の国民性を見ることができます。

暦日	六曜
正・七	先勝
二・八	友引
三・九	先負
四・十	仏滅
五・十一	大安
六・十二	赤口

※読み方は複数あります

お知らせ 漢字・日本語検索Webサイト「漢字ペディア」をお使い下さい!

パソコン・スマホ・タブレットから利用可能

利用無料! ※通信料・パケット料は利用者負担

『漢検 漢字辞典第二版』に収録している漢字や言葉の情報をもとに制作しています!(収録字数 約6300字)

- 漢字の検索、言葉の検索が可能!
- 索引も充実! (音訓索引、部首索引、総画数索引、四字熟語索引、故事・ことわざ索引、同音異義索引、熟字訓・当て字索引)
- 1級・準1級の学習にどうぞ!

URL <http://www.kanjipedia.jp>

字体・字形(表示される漢字の形)はご利用の機器等の環境により異なります。



会員投稿

共通部首パズル



共通する部首を加え、熟語にしてください。

クイズ作成者 埼玉県 のんちゃんさん

例　市・未 → 女 + 市　女 + 未 → 姉　妹

- | | |
|---|---|
| ① 早・化 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ⑯ 斤・首 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ② 申・土 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ⑰ 炎・舌 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ③ 失・岡 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ⑱ 冬・吉 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ④ 音・士 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ⑲ 祭・艮 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ⑤ 任・代 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ⑳ 忍・正 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ⑥ 田・云 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ㉑ 褒・立 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ⑦ 也・或 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ㉒ 旨・方 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ⑧ 每・兵 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ㉓ 良・曼 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ⑨ 隹・占 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ㉔ 今・未 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ⑩ 矢・丙 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ㉕ 尼・召 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ⑪ 有・各 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ㉖ 巴・屋 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ⑫ 段・東 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ㉗ 半・呂 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ⑬ 義・生 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ㉘ 全・義 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ⑭ 良・貝 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ㉙ 石・留 → <input type="text"/> <input type="text"/> |
| ⑮ 名・丁 → <input type="text"/> <input type="text"/> | ㉚ 七・宅 → <input type="text"/> <input type="text"/> |

※解答は6ページにあります。

第9回

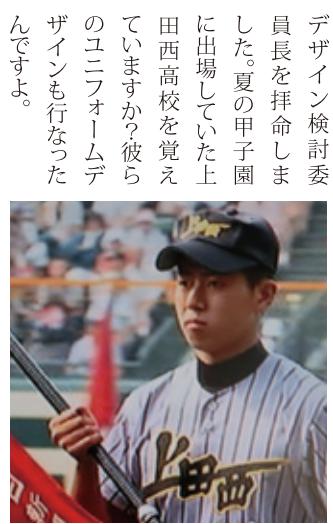
漢感興起

かんかんこうき

「観感興起」…目で見、心に感じ、感動して奮起すること。
(漢検四字熟語辞典より)

人にはさまざまな立場があり、それぞれの角度から観ると、漢字の姿は一様ではないようです。このコーナーでは、漢字や日本語に特別な思いを抱きながらお仕事をされている方を取り上げ、その人ならではの「漢字模様」について伺います。

今回は、ヴィジュアルデザイナー・東北芸術工科大学名誉教授の馬場雄二さん。漢字をモチーフとした作品にはどのような思いが込められているのでしょうか。



※写真は馬場さん提供

今日は東京・神田神保町で開催されている「馬場雄二の漢字遊び100点フェア」をお訪ねしています。会場にはこれまで馬場さんが開発した漢字ゲーム50点、著書50冊が所狭しと並べられています。馬場さんは、どのようなことをしてこられたのですか。

私は大学の卒業論文で『漢字の視覚化』をテーマとして取り上げて以来、漢字についての個展を開くようになり、ゲーム、パズル、本などを多く世に出していました。

またヴィジュアルデザイナーとして大学で講義を行ったり、ロゴのデザインを手がけたり、長野オリンピックではデザイン検討委員長を拝命しました。夏の甲子園に出場していた上田西高校を覚えていますか?彼ら

のユニフォームデザインも行なつたんですよ。

—2015年夏の甲子園でも話題になった、かつこいいユ二フームですよね。

これは私の出身が長野県上田市なので制作を依頼されたものです。「上田西」という漢字を貫いている直線には、「右肩上がりに一直線で」というメッセージが込められています。これも漢字の面白いところなんですが、「上」と「田」と「西」の組み合わせでないところなんですが、「上」と「田」と「西」の組み合わせでないところなんですよ。

—卒業論文のテーマの「漢字の視覚化」とは?

漢字を書くものや読むものとして位置づけるのではなく、見るものや感じるものとして位置づけるという考え方です。私は国語学者ではないので、漢字の成り立ちや

歴史にはそれほど興味がありません。むしろ作品作りにおいては、それにはあまり詳しくないほうがいいとさえ思っています。この字はこう見えるからこのようなパズルにしよう、という直感を大切にしています。漢字の成り立ちを決して軽視しているわけではありませんが……

—ロングセラーの「ことわざカルタ丸」はことわざを一目で理解できるように表現していて、面白いですね。

象形文字を扱うときは、それが作られた頃に想いをはせます。創作漢字を作るときは、むしろ象形文字を超えていいのか、もうどう現代的な意味を付け加えたりして、新しい解釈ができるれば面白いなど思っていますね。



—そもそも漢字に興味を持ったきっかけは?

学校ではまず平仮名や片仮名を習いますよね。でもそれらは「文字では意味を持っていません。だから「あ」を覚えて「お」を覚えない」と「あお」という言葉がわからない。ところが漢字は一文字で意味まで理解できてしましますよね。これは仮名にはない表現力です。だから漢字はすごいなと思うて、漢字が好きになりました。でもただ一度だけ、漢字が嫌いになつたことがあるんです。小学生の時にいたずらをして、その罰として同じ漢字をひたすら書かされたことがあった。その時はさすがに参つて、「漢字がなければこんな思いをしなくてもいいのに、漢字なんてやだな。」と思いました。

小学生の頃のその苦い体験から、子どもを漢字嫌いにさせたくないと思い、デザインしたのが「漢字の宝島」で

す。これは小学校の国語教科書全学年のトップページに掲載されました。その学年で習う漢字が、この宝島の地図に出てきて、漢字を探して一つ一つ塗りつぶしていくものです。これだと、クイズを解いている感覚でできます。漢字学習を労働のようにしたくないと、強制的なものではなく、楽しみながら学べるように工夫しました。

——馬場さんの思われる漢字の魅力とは?

漢字はデザインとしての面白さがあると思っていますので、一般的な漢字好きとは少し感覚が違うのかなど思います。また、漢字の力は見ただけで意味が分かることだけではなく、感じることまでできるところにあると思います。「寂」という漢字一文字にはさびしさを「樂」という漢字一文字にはたのしさを感じることができます。

漢字を表面的に見ると読むだけや書くだけとなってしまいますが、もつと深く見て、分解してみるとさらに面白い。ある漢字を分解してしまって、他のパーツと合成すると別の漢字になる。この面白さを活かして漢字博士シリーズというゲームを作製しました。



う本を出版したのですが、かえつて誤字の方がしつくりくるなあと自分で思つてしまつことがあります。それ以降は、ついその誤字の方を書いてしまうようになつてしまつたり、どつちが本当かわからなくなつてしまつたり…。

——それは困りましたね(笑)。

——どのような思いを込めて作品を作っていますか?

自分が面白いと思ったものでなければ、人も楽しんでくれません。これは、私が作品を作る時の基本的な考え方です。だからまず自分を楽しませることができるものを作り、人に見てもらう。たとえ人が楽しいと言つたものでも、自分が楽しいと思わない世には出さないようにしています。

私が学生の頃は、デザインは「商業美術」と呼ばれていて、画家や彫刻家が片手間に行つているものでした。でも画家になつて一枚の絵を描き、どこかのお金持ちの家の部屋に飾られるだけだと、その人しか楽しめることができない。一方デザインだと、より多くの人に見てもらえる、より多くの人に影響を与え、楽しめることができる、と私は考えました。だからきっとデザインの方が世の中のために面白いことを提供できるだらうと思い、デザインの道に進みました。

——なかでも漢字をメインモチーフにした理由は?

漢字は小学生で1000字も習いますよね。つまり漢字はみんなが知っているもの。漢字を素材にしたゲームなら、ルールさえ覚えれば誰でも一緒に遊べます。私のゲームは小学生で習う漢字をメインにしていて、たくさん知っている人が勝つようなものではありません。大人も子どもも一緒に遊べて、大人も負ける、そこに面白さが生まれるのです。

——漢字を題材にすることで難しいところは?

漢字を扱うなかで難しいと思つたことはありませんね。楽しんで作品を作っています。困ったことといえば…ありえそうな誤字ばかりを作つて、例えば「逆」という漢字を「逆」と書いてみたりして、「誤字等」とい

——今後の開発のご予定は?
シニア向けの漢字遊びを開発したいですね。ゲームは、認知症予防や脳の活性化にとても効果的と聞きました。文字でオセロのように遊べるゲームをデザインしたところ、脳科学者の茂木健一郎さんも絶賛してくれたので、是非商品化したいと思っています。

——最後に、馬場さんがお仕事に込める思いを漢字一文字で教えて下さい。

創作漢字でお答えします。生前墓石に入れた「苦」です。苦い時には「きつ」と後でいいことがあるに違いない」と思えば樂になるし、楽しいときにも「あまり浮かれていてはいけないぞ」と戒めることができます。人生ってこのようなものだと思うんですよ。この深い真理を一文字で表すことは、創作漢字ですが、やはり漢字でないとできませんよね。

——ありがとうございました。



「苦あれば樂あり」を表した創作漢字

プロフィール

馬場 雄二(ばば ゆうじ)

東京芸術大学大学院第二期生。ヴィジュアルデザイナー。東北芸術工科大学名誉教授。

文字やデザインを遊びの視点から創作・研究するとともに、フジサンケイグループ、ZFC、西武百貨店などのCIディレクション、グラフィック、商品開発などを手掛ける。「世界受けたい授業」(日本テレビ)などテレビ出演。長野冬季五輪デザイン検討委員長等を歴任。信州上田市観光大使(猿飛佐助)。

初めて一級に合格しました!

漢検の最高峰一級に初めて合格した会員の喜びの声をご紹介します。

まさに有言実行、家族の皆様の前で宣言され
てから実際に一級に合格されました!これから
も健康維持とともに無理のない範囲で受検を続
けていただければ嬉しく思います。

奈良県 淵崎さん

歩歩きで、米寿には地球一周分を(步数を距離に換算して歩くこと)漢字検定に挑戦して喜寿には1級に合格する」と宣言したことでした。一万歩歩きは今も続いており、漢検は奇しくも喜寿を迎えた直後の平成27年度第2回の検定で合格しました。

二級・準一級は短期にクリアしたので、一級を少し甘く見ていて趣味の合間に勉強していたのですが、4年を経ても130点の壁が破れず、これでは駄目だと趣味の内、書道・川柳・卓球を休止して漢検に集中したこと、ウォーキングや外出時には常に単語カードを持ち、1つ2つと覚えたこと、また、奈良受検区で二級挑戦者の勉強会(おしゃべり会)15人程で内半数程はすでに一級合格者のグループに参加させてもらい種々の資料を頂いたり、勉強方法のアドバイスを受けるようになり、次第に点数も上がり10回目の挑戦で念願が叶いました。

今後は、趣味を復活したり、今では趣味の一つになっている漢検を、おしゃべり会の人達と楽しく受検していきたいと思っています。

漢字検定に取り組むきっかけは、家族が設けてくれた古希の祝いの席で「これからは健康維持のため身体を動かすことと、脳を使うことをこれまで以上にやっていこうと思う。具体的には一日一万歩歩きで、米寿には地球一周分を(歩数を距離に換算して歩くこと)漢字検定に挑戦して喜寿には1級に合格する」と宣言したことでした。一万歩歩きは今も続いており、漢検は奇しくも喜寿を迎えた直後の平成27年度第2回の検定で合格しました。

二級・準一級は短期にクリアしたので、一級を少し甘く見ていて趣味の合間に勉強していたのですが、4年を経ても130点の壁が破れず、これでは駄目だと趣味の内、書道・川柳・卓球を休止して漢検に集中したこと、ウォーキングや外出時には常に単語カードを持ち、1つ2つと覚えたこと、また、奈良受検区で二級挑戦者の勉強会(おしゃべり会)15人程で内半数程はすでに一級合格者のグループに参加させてもらい種々の資料を頂いたり、勉強方法のアドバイスを受けるようになり、次第に点数も上がり10回目の挑戦で念願が叶いました。

本当におめでとうございます!

初合格を目指している方も、合格の瞬にはぜひ感動の声をお寄せください。

投稿の方法はP.8をご覧ください。

共通部首パズル 答え

1	草花	16	近道
2	神社	17	談話
3	鉄鋼	18	終結
4	意志	19	際限
5	賃貸	20	認証
6	雷雲	21	優位
7	地域	22	脂肪
8	海浜	23	浪漫
9	焦点	24	吟味
10	疾病	25	泥沼
11	賄賂	26	把握
12	鍛錬	27	伴侶
13	犠牲	28	詮議
14	狼狽	29	柘榴
15	酩酊	30	叱咤

日常に学びをプラス

日本語・漢字に関する記事サイト

「漢字カフェ」2月下旬オープン!

「漢字カフェ」は、日本語や漢字に関する記事を紹介するサイトです。記事は随時更新予定!



トップページイメージ(写真・文字などは変わることがあります)

メルマガ登録者募集!
詳しくは<http://www.kanjicafe.jp/>まで

漢字同好会からのお知らせ

全国の漢字同好会の情報は、漢検ホームページからもご覧になれます。
<http://www.kanken.or.jp/project/edification/associations.html>

北海道漢字同好会

漢字塾	漢遊会	漢遊会	3月例会・学習会	2月例会・学習会
日時	平成28年2月20日(土) 13時～16時	平成28年3月19日(土) 13時～16時	平成28年3月6日(日) 14時～	平成28年2月14日(日) 14時～
会場	かでる2・7(710号室) (札幌市中央区北2条西7丁目)	かでる2・7(920号室) (札幌市中央区北2条西7丁目)	郡山市中央公民館 第1講義室	郡山市中央公民館 第1講義室
内容	1級・準1級・2級の三つのグループに分かれて勉強します。	第14回「力だめし200問」	「愛の漢字と名言名句」	「華麗なる天平の至宝」ビデオ鑑賞
参加費	無料 漢検対策がおもな内容です。	無料	無料	八重樫一氏

内場日時	内場日時	内場日時	新潟漢字同好会
所	所	所	所
容	容	容	題
参加費	参加費	参加費	申込方法

● 平成28年4月16日(土) 13時～16時
 ● かかる2・7(710号室)
 ● 札幌市中央区北2条西7丁目
 ● 1級・準1級・2級の三つのグループに分かれて勉強します。
 ● 無料
 ● 無料
 ● 初めて参加される方は前日までに電話またはEメールでお申し込みください。
 ● 北海道漢字同好会 事務局
 ● 同好会会員には、後日案内を発送します。
 ● 同好会会員以外は左記へ電話申し込みください。
 ● みください。
 ● 同好会会員以外の方は、4月10日まで。
 ● 伊賀仁氏
 ● 無料
 ● 同好会会員には、後日案内を発送します。
 ● 同好会会員以外は左記へ電話申し込みください。
 ● みください。
 ● 伊賀仁氏
 ● 無料
 ● ハガキ、FAX、またはEメールでお申込みください。
 ● (電話での連絡は、ご遠慮願います。)
 ● 〒921-8036 金沢市弥生2-13-6
 ● 事務局長・宮前外彌旺
 ● FAX 076-241-7617
 ● Eメール kanji0764@nifty.com

福島県漢字同好会

2月例会・学習会	3月例会・講演会	3月例会・講演会	4月例会・講演会
日時	平成28年2月28日(日) 13時30分～	平成28年3月27日(日) 13時30分～	平成28年4月24日(日) 14時00分～
会場	北國新聞会館10F108教室(金沢市南町2-1)	北國新聞会館10F108教室(金沢市南町2-1)	北國新聞会館10F108教室(金沢市南町2-1)
内容	「華麗なる天平の至宝」ビデオ鑑賞、他 昨年11月研修旅行で観賞した「第67回正倉院展」の全貌を再現・復習する。	「愛の漢字と名言名句」 八重樫一氏	仮題「能登詩情」 漢詩で読む能登・金沢の詩情 畠中榮先生
参加費	無料	無料	無料
申込締切日	平成28年2月18日	平成28年3月17日	平成28年4月14日

石川漢字友の会

2月例会・学習会	3月例会・講演会	3月例会・講演会	4月例会・講演会
日時	平成28年2月28日(日) 13時30分～	平成28年3月27日(日) 13時30分～	平成28年4月24日(日) 14時00分～
会場	北國新聞会館10F108教室(金沢市南町2-1)	北國新聞会館10F108教室(金沢市南町2-1)	北國新聞会館10F108教室(金沢市南町2-1)
内容	「華麗なる天平の至宝」ビデオ鑑賞、他 昨年11月研修旅行で観賞した「第67回正倉院展」の全貌を再現・復習する。	「愛の漢字と名言名句」 八重樫一氏	仮題「能登詩情」 漢詩で読む能登・金沢の詩情 畠中榮先生
参加費	無料	無料	無料
申込締切日	平成28年2月18日	平成28年3月17日	平成28年4月14日
申込方法	● Eメール kanji0764@nifty.com	● Eメール ishikawa-kanji@pos5nsk.ne.jp	● Eメール ishikawa-kanji@pos5nsk.ne.jp
お問い合わせ	● 同好会会員には、後日案内を発送します。 ● 同好会会員以外は左記へ電話申し込みください。 ● みください。 ● 同好会会員以外の方は、4月10日まで。	● 同好会会員には、後日案内を発送します。 ● 同好会会員以外は左記へ電話申し込みください。 ● みください。 ● 伊賀仁氏 ● 無料 ● 同好会会員には、後日案内を発送します。 ● 同好会会員以外は左記へ電話申し込みください。 ● みください。 ● 伊賀仁氏 ● 無料 ● ハガキ、FAX、またはEメールでお申込みください。 ● (電話での連絡は、ご遠慮願います。) ● 〒921-8036 金沢市弥生2-13-6 ● 事務局長・宮前外彌旺 ● FAX 076-241-7617 ● Eメール ishikawa-kanji@pos5nsk.ne.jp	● 同好会会員には、後日案内を発送します。 ● 同好会会員以外は左記へ電話申し込みください。 ● みください。 ● 伊賀仁氏 ● 無料 ● ハガキ、FAX、またはEメールでお申込みください。 ● (電話での連絡は、ご遠慮願います。) ● 〒921-8036 金沢市弥生2-13-6 ● 事務局長・宮前外彌旺 ● FAX 076-241-7617 ● Eメール ishikawa-kanji@pos5nsk.ne.jp

会員通信への 投稿募集中！

会員通信を充実させるため、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。

● 常時募集

(掲載いたしかねる場合もございます)

漢字・日本語に関するお薦めの書籍紹介

書名、著者名、出版社名、発行年を明記して、お薦めの理由を250字以内にまとめてお送りください。

投稿方法

原稿とともに会員番号、氏名(ペンネームで掲載希望の場合はペンネームも添えること)、電話番号を明記し、郵便・FAX・Eメールでお送りください。
 ※Eメールの場合は原稿書式を「Microsoft Word」もしくは「一太郎」とし、添付ファイルでお送りください。

締切日

2016年4月15日(金)(協会必着)

投稿先

郵送 〒600-8585
 京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町398
 公益財団法人 日本漢字能力検定協会
 漢検生涯学習ネットワーク担当
 FAX 075-352-8310
 Eメール lifelong@kanken.or.jp
 すべての投稿を掲載できるわけではありません。原稿はこちらで一部割愛・校正させていただくことがあります。

- 対象
 平成26年度第3回(10月)～平成27年度第2回
 (6月)の検定で初めて一級に合格された方
- 字数
 項目①～⑤までで500字以内
 ⑤今後の目標
- ①いつ合格したか
 ②何回目の挑戦での合格だったか
 ③合格に向けて工夫したこと(勉強方法等)、努力になったこと
 ④合格したときの気持ち・感想

一級に初めて合格しました！

この一年で、最難関の一級に初めて合格した方の喜びの声と、合格のポイントを紹介します。
 以下の項目に沿って原稿をお書きください。

- ### 漢字に関するパズル・クイズ
- 子供からお年寄りまで楽しめる面白い漢字パズルを募集します。問題と解答を必ずセットにしてご投稿ください。
 (未発表作品に限ります。)
- 例 ● 漢字クロスワードパズル、子供向け漢字クイズ(学習漢字のみ使用)、難読漢字パズル等

- 「漢字同好会メンバー・仲間」募集板
- 「漢字同好会のメンバーを集めたいのだが、どうすればいいか分からない」「同じ県内で一緒に勉強できる仲間がいないかな?」といった悩みをお持ちの方はいらっしゃいませんか?研修会内の交流会に参加できない会員の皆さまのご要望に応え、同好会メンバー・や仲間の募集板を会員通信内に開設します。募集内容や自己紹介などと一緒に、公開してもよい連絡先(ペンネーム可)を明記の上、お送りください。
- 例 ● 京都市内で漢字の勉強会をしませんか?一級合格に向け勉強方法などを共有して高め合えればと思います。
 漢検花子 60才 京都市在住 Eメール : kanken-hanako@xxx.jp
- ※掲載しても差し支えないか投稿内容を必ず確認の上、お送りください。

日本漢字能力検定 平成28(2016)年度

個人受検 検定日程

	検定日	申込受付開始日	申込締切日(協会必着)
第1回	平成28年 6月19日(日)	平成28年 3月1日(火) ※ただし、書店での申込受付は平成28年5月16日(月)まで 書店での支払い後、願書の郵送は平成28年5月19日(木)協会必着	平成28年 5月19日(木)
第2回	平成28年 11月 6日(日)	平成28年 7月1日(金) ※ただし、書店での申込受付は平成28年10月3日(月)まで 書店での支払い後、願書の郵送は平成28年10月6日(木)協会必着	平成28年 10月 6日(木)
第3回	平成29年 2月 5日(日)	平成28年 11月1日(火) ※ただし、書店での申込受付は平成28年12月28日(水)まで 書店での支払い後、願書の郵送は平成29年1月6日(金)協会必着	平成29年 1月 6日(金)

- 申込締切日(協会必着)を厳守してください。
- 申込締切日以後に願書が到着した場合や、検定料の支払期限が過ぎた場合は受け付けできません。



公益財団法人 日本漢字能力検定協会 本部 〒600-8585 京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町398

※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。無断転載・コピー不可。

インターネットで漢検情報を!! 漢検 検索 <http://www.kanken.or.jp/>



0120-509-315

月～金9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)
 ※検定日とその前日にある土・日は窓口を閉鎖
 ※検定日・申込締切日は9:00～18:00

